

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市民参画・協働

事業名	新年互礼会事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図ること。
(事業概要等)
市内の企業、団体の関係者等を招き、新年の挨拶を行った後、親睦を深めるとともに、今後の市政への協力を仰ぎ、意見・情報交換を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	342	0	0	380	
うち市負担分(千円)	342	0	0	380	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
新年互礼会参加者数	人	約300	-	-	約300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催できなかったため、成果はない。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	限られた予算のなかで、会場設営などの見直しを行い、事業費の削減を行ってきた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍により、令和3年度の開催は中止となった。今後、開催方法などについて、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 様々な方が出席し、親睦を深め、意見・情報交換を行うことにより、市政への理解や協力を得ることができ、本市への発展に繋がると思われる。そのため、参加者同士の懇談時間を長く設けるなど、更に活発な意見・情報交換の場を提供していくが、コロナ禍により、開催方法の検討が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	令和3年度について、新型コロナウイルス感染症のため中止した。 令和4年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況のみて開催について判断する。 開催の際、感染症対策として、新しい生活様式に即した会場設営・運営が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市制への市民参画推進

事業名	有功者表彰事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
永年、市の行政、教育、文化、産業および社会福祉などの増進その他公益に関し、その功労が顕著な者に対し て市民とともに表彰し、功績を称えること。
(事業概要等)
毎年、文化の日(11月3日)に表彰状、有功章および記念品を送り、表彰式典を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	685	476	558	1,130	
うち市負担分(千円)	685	476	558	1,130	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
有功者表彰式典開催数	回	1	1	1	1
新たな有功者	人	3	5	2	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
永年、市に貢献された方々を市民とともに祝い、行政と市民の距離を縮めることにより、親睦が深まり、様々な意 見交換がなされるようになった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成21年度より参加負担金を徴収している。 祝賀会で食事を提供する際に、仕出屋にテクスピア大阪まで配達してもらっていたが、食中毒 等の衛生面を考慮し、令和2年度よりホテル開催に変更した。ホテルで調理から提供まで行う ことで、安全に食事を提供する。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍により、令和2年度及び同3年度は規模を縮小して開催した。今後、開催規模・方法な どについて検討する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式であ り、今後も継続して行うが、コロナ禍により、開催方法の検討が必要である。
改革・改善 策等の具 体的内容	令和2年度及び同3年度については、コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して実施し た。約100人来ていた招待者も約20人に制限し、飲食を伴う祝賀会は中止した。 令和4年度は、市制施行80周年の節目の年であるため、令和元年度以前と同様の規模での 開催を検討している。 開催の際、感染症対策として、新しい生活様式に即した会場設営・運営が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域ブランドの活用と確立

事業名	マスコットキャラクター運営事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市のマスコットキャラクターを作成し、さまざまな場面で活用することで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティセールス(地域PR)を図る。
(事業概要等)
市制施行70周年を機に市マスコットキャラクター「おづみん」を募集・制作し、イラストやグッズによるPRのほか、着ぐるみによる各種イベント、メディアへの出演により、広くシティプロモーションを図った。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,912	1,151	1,631	2,084	
うち市負担分(千円)	2,008	787	37	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
イラスト使用承認件数(一般向け)	件	36	15	23	25
着ぐるみ参加イベント数	件	77	19	17	20
着ぐるみ貸出件数(一般向け)	件	26	5	10	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントにおいて活用することで、市民の郷土愛の醸成に大きく寄与している。また、「おづみんTwitter」の開設により、市内外を問わず、広く本市のシティセールス(地域PR)を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	着ぐるみ活動の一部民間委託(平成27年7月) 『おづみんTwitter』を開始した。(平成28年8月)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	イベントの開催が徐々に増えてきて、それに伴い「おづみん」の露出度も増えてきた。一方で、ゆるキャラグランプリが終了するなど、全国的な流行に陰りがあるため、新たなファンを獲得するための工夫が必要。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 地域の子どもからの人気は高く、市の魅力向上に大きく寄与している。また、キャラクターを通じて、本市に関わりのない人にもPRできている。
改革・改善策等の具体的内容	市制施行80周年を契機にLINEスタンプを制作し、市公式LINEアカウントの新規・既存の登録者に配布する。既存の登録者には日ごろの感謝の気持ちを伝えるとともに、新規登録者には今までにないアプローチで「おづみん」及び市の認知度アップを図り、フォロー数を増やす。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	2	歳入の確保

事業名	泉大津市ふるさと応援寄附事業	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。

(事業概要等)

泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に対し、謝礼としてふるさと産品を進呈する。企業に働きかけ、ふるさと産品を充実させるとともに、ポータルサイトの活用などにより寄附の促進を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	196,466	265,205	275,491	379,287	
うち市負担分(千円)	196,466	265,205	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
寄附金額	千円	462,243	589,634	638,573	810,000
寄附件数	件	14,372	17,312	16,876	20,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ポータルサイトの新たな開設、返礼品の数の増加や内容の充実により、前年と比較し寄附金額及び件数は上回る結果となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和元年度からポータルサイトを1つから4つに拡充、さらに令和3年度には1つを拡充し、合計5つのポータルサイトで寄附の受け付けを行い、寄附者の利便性の向上を図った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	本市の返礼品の多くは毛布やニット製品である。今後、安定的な寄附金額を確保するためには、人気のある食品関連の返礼品を充実させるなど、ジャンルを増やしていくことが重要。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 寄附金が各事業の財源となっていることから、更なる寄附額増加のための取り組みが必要である。
改革・改善策等の具体的内容	新たなポータルサイトの開設、人気のある食品関連の返礼品などを充実させることにより、新規の寄附者やリピーターを獲得する。そのために、新たな返礼品の開発やマーケティング力など専門的知見を有している任期付職員を招へいし、寄附額増に向けて効率的かつ効果的な施策を展開していく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の推進

事業名	ガバメントクラウドファンディング活用支援事業	担当課名	秘書広報課
-----	------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	社会課題解決のために民間事業者等が工夫して実施する事業に対し、資金調達を円滑にすることを目的に、クラウドファンディング型ふるさと応援寄附により集まった寄付金を事業者に交付する。
(事業概要等)	社会課題解決のために民間事業者等が工夫して実施する事業に対し、資金調達を円滑にすることを目的に、クラウドファンディング型ふるさと応援寄附により集まった寄付金を事業者に交付する。

【事業費】

項目／年度			R03 (決算額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			4,717	30,000	R3～新規事業
うち市負担分(千円)			4,717	30,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位			R03年度 実績値	R04年度 目標値
寄附金額	千円			4,717	30,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
社会課題解決プロジェクトを募集し、審査委員会での審査を経て採択した「新型コロナウイルスの感染ステージに応じた対応に係るリビングラボ推進事業」について寄附金を募集し、約1ヵ月で4,717,000円の寄附金が集まり、社会課題の解決につながる取組みを実施することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度より新たに創設した事業。
--------	-------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	プロジェクトにおいて目標の寄附金額を設定し募集を行ったが、目標は未達成であった。魅力的なプロジェクトであるが、目標金額がかなわないと、予定するプロジェクトに制限がかかるため、今後はプロジェクトの魅力の発信により、寄附金額の目標達成に向け改善が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 昨年度より新たに創設した当該事業について、今年度はさらに規模を拡充して実施し、官民連携の推進に向けて資金調達の仕組みを構築する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	寄付金額目標達成に向け、連携事業実施者と綿密な協議を重ね、目標金額の設定、最大募集期間(3ヶ月)を確保できるスケジュール調整、魅力的なポータルサイトページ作成等を検討し、官民ともに責任を持って取り組む。 また、情報発信については、限定的であったことから、多くの人に取組みを知ってもらえるよう対外的なチャンネルを増やすことも検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の推進

事業名	元気な泉大津づくり政策研究事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	人口減少、少子高齢化、グローバル化、IT化など社会環境が大きく変化するなか、これらに対応し、市民サービスを維持・向上させることを目的とする。
(事業概要等)	職員が他の自治体や民間企業等に赴き情報収集し、そこで得た情報をもとに外部有識者の知見も活用し新たな施策展開を模索する。加えて、本市職員の人材育成のあり方や地域で活躍する人材の育成のあり方を外部有識者の知見も活用し検討する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,591	7,664	7,359	13,697	令和3年度～ 政策推進課より移 管
うち市負担分(千円)	8,591	7,664	7,359	13,697	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事業化に結びついた件数/研修・視察を行った課題件数	件	2/4	1/3	0/5	3/7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
外部有識者のアドバイスや人脈を活用し、民間企業と連携した行政サービスに関する実証実験を実施し、市民サービスの向上及び業務の効率化に繋がる取組みを行うことができた。 リビングラボ推進事業補助金を創設し、社会課題の解決につながる取組みを創出した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	外部有識者の知見をより活用するための非常勤嘱託職員(2名)採用。 リビングラボ推進事業補助金を創設し、社会課題の解決につながる取組みを創出した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	当該事業を活用して視察等を行う職員が一部の者に限られている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により視察や外部有識者の招へい機会をとることが減少している。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 本市が抱える課題と民間企業等が有する技術やノウハウを今まで以上にスピーディーに結びつけ、課題解決に向けた取組みを進めていく必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	人口減少・少子高齢化等、社会構造の転換期の中で、経済面・財政面での制約がある中においても、これまでの市民サービスを維持しながらスピーディーに社会課題を解決できるよう、官民連携の取組みの推進・情報の蓄積・庁内での共有等、全庁的に取り組んでいく。 そのため、本市の課題を抽出し、その課題を広く公に提示することで、民間企業等が本市の課題に対して提案しやすい環境を整え、スピーディーに社会課題の解決に向けた取組みの創出を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報活動事業	担当課名	秘書広報課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を公開することで行政の透明化を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ホームページやフェイスブックなどSNSの新規ページ作成や既存ページの更新を行い、情報提供の充実を図るとともに、市の魅力を発信していく。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,295	5,054	9,635	12,008	
うち市負担分(千円)	3,925	3,914	2,408	10,310	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
ホームページのアクセス数	回	1,175,388	2,729,111	2,464,858	2,700,000
フェイスブックのフォロー数	件	1,827	2,065	2,214	2,500
LINEのお友だちの数	件	3,867	7,847	19,358	22,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
SNSなどを活用し、行政情報や本市の魅力などを多く提供できている。また、災害や緊急の情報などを迅速に配信できていることから市民の利便性の向上が図られている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成30年度はInstagram、令和元年度にはLINEを導入し、市の魅力の新たな発信ツールとして活用している。令和2年度には市庁舎屋上にデジタルサイネージを設置し、市政情報や市PR動画を流し、南海電車の乗客や市役所付近を通る人たちへの情報発信も行っている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	1人でも多くの人に情報を届ける、また必要な情報を必要としている人に確実に届けられるよう、常に検討していく必要がある。特に、LINEなどのSNSなどの情報を受け取ることができない人に対して、どのようにスピーディーに情報を伝えるか検討が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	(左記評価の理由) B 改善し継続 広報活動は、市民サービスの向上には必要不可欠な事業である。加えて、ふるさと納税やふるさと納税型クラウドファンディングの寄附額増には、市外への情報発信も重要である。引き続き、市民へ情報を確実に届けられる環境整備に努めるとともに、市外への情報発信のための新たな媒体について検討が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	他自治体での広報を調査研究を行い、効果的な情報伝達の手段を検討していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報紙発行事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報・イベントなどの情報を市民へ提供することを目的とする。
(事業概要等)
毎月31,000部発行し、自治会配布のほかポスティングにより配布。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,724	14,379	14,346	26,846	
うち市負担分(千円)	13,617	13,305	13,160	23,864	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
広報紙配布実数	部(月)	30,612	30,194	29,307	30,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自治会及び自治会未加入者への配布数は、ともに減少傾向にある。公共施設、市内にある公共交通機関の駅、コンビニ、スーパーなどにも配架し、多くの市民に広報紙を手にとってもらうようしている。また、ホームページに掲載、LINEでも毎月1日に通知を行うなど、手軽に見てもらえるよう環境の整備を行っている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成30年度から市民レポーター制度を導入し、取材や記事づくりにも市民の力を取り入れ、市民にとってより身近な広報紙となるよう努めている。また、令和2年10月からはLINEを活用したアンケートを実施し、若者から高齢者までの幅広い意見をもとに、見やすくわかりやすい紙面づくりに努めている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市民が必要としている情報を限られた紙面でいかにうまく掲載し、見てもらえるかが重要。また、広報紙のデザイン構成から校正までのすべての業務及び広報紙の配布を職員が担っていることから負担は大きいものとなっている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) その時勢にあわせて「見やすく」「わかりやすい」紙面づくりが必要。広報紙の作成について、職員のスキルにより紙面の出来にバラつきが生じていることから、紙面の質を一定にし、読みやすさ・わかりやすさを向上させることが必要。また、広報紙の配布方法についても検討が必要。
	改革・改善策等の具体的内容	LINEアンケートでいただいた意見・要望に注視し、読者の方が何を求めているかの把握に努め紙面づくりに反映していく。また、紙面の質を確保するために令和4年度から作成に係る業務を外部委託する。加えて、広報紙の配布方法についても外部委託化について検討する。